

2020年
260号
1月22日(水)

ねんきん越谷

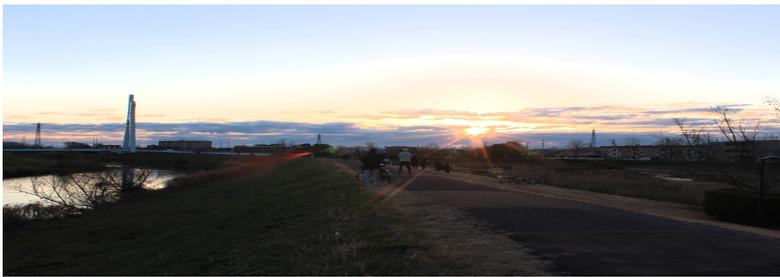
全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
(越労連内)
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

賀正

今年もよろしくお祈りします

吉田健浩 森秀夫
足立英郎 栗原幸男
山本正美 大野三郎
和田幸雄 松川依子
五十嵐光範 森山久子
広瀬久雄 小川由美子
高木常雄 利雪文子
川原利雪

今年こそは私たちが主人公です。楽しい人生を送る為、年金者組合員の仲間と一回りも二回りも大きくしましう。私達といっしょに余生をたのしみましよう。



国会は「桜・桜・と」。日本は「オリピック」と華やかな平和な日本と思われませんが。安倍は「憲法を改悪し戦争への道、消費税の10%増税、社会保障の改悪」等、何一つ利点がありません。年金で生活している私たちには「安倍」はいりません。一日も早く「やめさせ」国民のみなさんに「金メダル」をかかげましょう。

組員の皆さん
「新春」
おめでとうございます

2020年元旦
支部長 吉田健浩

「きたみ草句会」へ
参加しませんか

猿人の顔に彷彿日向ぼこ 飛山ますみ
年忘れ忘れてならぬあれやこれ 山城葉光
「照一隅」吾が胸底に聖樹植う 広瀬久雄
青空に触れ雲を生む冬のばら 望月よし江
林檎食む前頭葉に津軽の香 金子まさ江
着ぶくれて世界を逆走化石賞 山田夢子
廃村のトタン屋根から虎落笛 望月たけし

私たちは月に一度、北越谷駅西口の北越谷公民館で句会を開いています。「きたみ草句会」と称しています。メンバーは八人です。指導は望月たけしさんにお願ひしています。テレビ番組で関心が高まっているようですが、俳句作りにはいくつかの効能があるようです。まず、季節の移り変わりや、世の中の出来事に多少敏感になりやす。そして、自分の思いを五七五の17文字でいかに表現するか、少ない脳味噌を絞り絞ります。頭の老化を遅らせる一助にはなりそうです。番組の指導者、夏井いつきさんは、生きる上でつらいこと、苦しいことがあつた時、俳句が「心の杖」となつて自らを支えてくれる、と述べています。「きたみ草句会」では、才能のありなしなど順位は付けません。純粋に表現を楽しみます。ひと月の間に書き溜めた中から、各自三作品を持ち寄り、氏名を伏せて発表します。その中から自分が良いと思った作品を五選びだします。選出されたら嬉しいですが、選ばれなかつたら悔しい思いをしますが、また次回を待たばよいのです。一緒に楽しみましょう。多くの方の参加をお待ちします。ちなみに一月は25日、13時〜15時です。以下に12月の作品を掲載します。(広瀬)

点晴
「これで良いのか」
災害日本列島

2018年は、西日本豪雨等、2019年は、台風5号、19号、20号等が起きている。日本では毎年大災害がどこかで起きている。特に19号では、関東のほとんどの一級河川で氾濫危険水位を超え、この事態になりました。地球温暖化による気温の上昇により、近い将来、スーパー台風(900hpa以下、風速90m以上)が日本列島に上陸する可能性があるとされています。浸水被害が発生したほぼ全部と言っていい地域が、ハザードマップで浸水被害が予測されていた区域内で発生しています。今、国土交通省が千年に1度の浸水被害に対応するハザードマップを作成しようとしていますが、これに対応する治水計画が現状では非常に難しいのではないのでしょうか。利根川、荒川、多摩川等の一級河川では200年確率による改修計画により築堤等を行っていますが、このままでは幾ら堤防を嵩上げしても災害を防ぐことが出来ないのでは無いでしょうか。元々河川の遊水機能を担ってきた調整区域(田等)を開発し住宅化し、その結果堤防が繋がって行かなかった所を堤防で繋ぎ、ポンプ排水を行っていましたが、これでは堤防本体が決壊するのと同じか。前に起きてしまっています。つぎはぎだらけの災害復旧ではなく、国民の生命と財産を守るため、無秩序な乱開発をやめ、抜本的に日本の都市計画を見直す時期に来ているのではないのでしょうか。越谷市でもみんな考えてみようではありませんか。(和田)

新春の集い&誕生会のお知らせ
日時 1月29日(水) 12時〜14時
場所 平方山谷自治会館
☆詳細については前号のチラシを参照

次回の宣伝行動 2月19日(水) 12時〜13時 南越谷南口